費 承 認 伺 記入例 療 第

- つい健康促除組合 理事長 殿

※ 大林内ご記すてさい

常務理事

担 当

事務長

ニコン健康保険組合			太仲内こ記	人「ひい。
		養 費 申 二家族療養費	請書	
<被保険者(本人)の場合は、療養費に、被扶養者(家族)の場合は第二家族療養費にレ印をつけてください>				
被保険者氏名	健保 太郎	保険証 記号	123 番 号	45678
在職者のみ		第一営業課	F	1234-5678
受 診 者 氏 名	健保 花子 続 柄	妻 生年月日	③ H•R 50	年 7 月 1 日
傷病名	右膝前十字靱帯損傷			
発病または負傷の原因 スキーで転倒した時に負傷 該当箇所に レ				
発病または負傷の年月 日	HR 2 年 4 月 12 日 (負傷の場合は午前・午後 時頃	傷病のその後 の経過	□入院中	□ 通院中 □ 治癒している
第三者行為	第三者行為(交通事故や喧嘩など)によって負傷したものである □はい □いいえ			
診療を受けた 医療機関又は施術所の 所在地・名称	(所在地) 東京都品川区西大井〇〇丁目〇〇番〇〇号 該当箇所に レ			
	(名 称) 東京都整形外科クリニック			
費用	12,345 円	令和 〇 年	× 月分(月)	ごとに ご記入ください)
該当箇所に レ	□ いいえ			
医療費助成を	□ はい(乳幼児 · 子ども · 障害 · ひとり親 · その他())			
受けていますか	『はい』の方 領収書の返送を希望しますか			
(鍼・あんま・マッサージは返送対象外)				
健康保険証を使用	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			
できなかった理由	1 → 添付書類:『領収書・明細書』+「医師が発行した治療用装具である証明(必要証明・装着証明 または眼鏡等作成指示書)」+ ※「治療用装具は装着した写真」(隠れてしまうときは装具の写真)			
該当箇所にレ	○健康保険証が手元に無かったため 理由(
該当の番号の□にチェック Vを入れ、『領収書』に加え	2 → 添付書類:『領収書』+「診療報酬明細書(レセプト)」			
て、各理由毎に必要な書類を添付してください。	(診療報酬明細書は本人が病院に依頼すれば発行してもらえます)			
┃				
(添付書類は原本)	3 → 添付書類:『領収書』+封筒に入った状態の「診療報酬明細書(レセプト)」			
□ ○受領委任払制度が認められていないため (□鍼灸・□あんま・□マッサーシ) 4 → 添付書類:『領収書』+「鍼灸の療養費支給申請書」+「医師の施術同意書」				
[申請者署名(手書き <u>)</u> (保険証の記号が888(特例退職者)・999(任意継続 者)の方は、記入不要です。)				
上記のとおり申請いたします				
令和 <u>〇</u> 年 <u>□</u> 月 <u>△</u> 日				
被保険者氏名(手書き) 健保 太郎 電話番号 <u>○○○ - □□□ - △△△△</u>				
(□ にチェック)				
レ であれりに				